

1.開講年度	2023
2.開講期	後期 木1限
3.講義コード	32470
4.授業科目	教育におけるICT活用 (2023-後期-木1)
5.単位	2
6.担当教員	村上 洋之
7.配当学年：法学科	1年 2年 3年
8.配当学年：経済学科	1年 2年 3年
9.配当学年：経営学科	1年 2年 3年
10.配当学年：商学科	1年 2年 3年
11.備考	教職科目（2022年度以後入学生のみ）
12.実務経験	有り
13.実務経験：内容	高校に教員・情報科目の担当として勤務しながら、岡山県立大学情報工学部に1年間内地留学したり、岡山県商業教育協会の情報関係分野の研究委員会に在籍したりした経験等を活かし、情報教育について実務経験を積んだ。
14.実務経験：授業との関連	高校教員・情報科目の担当教員として勤務しながら、岡山県立大学情報工学部に1年間内地留学したり、岡山県商業教育協会の情報関係分野の研究委員会に在籍したりした経験等を活かし、情報教育の実態について言及し実際に役立つ実践的な知識を教授する。
15.初年次教育	初年次教育
16.授業形態	講義, 演習, 実習・実技
17.授業方法	受動型, アクティブラーニング：課題解決型, アクティブラーニング：ディスカッションディベート, アクティブラーニング：グループワーク・ペアワーク, アクティブラーニング：プレゼンテーション
18.受講生のPC等使用	PC・タブレット（教室に備付）
19.接続科目	地域社会

20.授業の概要

建学理念の「社会的人材の育成」を目指し、教員志望の学生を中心として情報通信技術を効果的に活用した学習指導や校務の推進、情報モラルを含む情報活用能力を育成するための基礎的な知識・技能を養う。

21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する

- ・教科指導における教育目標と教科内容について、その概要を理解し、指定した単元について I C T を効果的に活用した授業展開の学習指導案が作成でき、それを基に模擬授業ができる。
- ・ I C T 活用の基礎的・基本的な知識・技術を理解し、特別な支援が必要な生徒への指導や校務に活かすことができる。
- ・ I C T 支援員などの外部人材を活用し、 I C T 環境や指導の充実について取り組むことができる。

22.授業計画

「講義方法」

- (1) この授業は対面を基本とするが、対面かオンラインかにかかわらず、WebClassを通じて資料の配信を行う。
- (2) オンライン対応時の授業方法はZoomを使用する。授業日の前日までに具体的な指示をWebClassを通じて配信する。また、出席確認のために毎回WebClass、Google フォームを通じて小レポートを提出すること。

1 オリエンテーション

(1) 授業の目的

- … 情報通信機器の活用の意義（個別最適な学び・主体的・対話的で深い学び）
GIGAスクール構想とSociety5.0の社会で活躍できる人材の育成について

(2) パソコンの基礎 … 起動・入力操作・出力操作・保存

(3) 基本操作演習

事前学修：今回の講義内容について事前に調べておき、概要を理解すること。

事後学修：講義で習った操作等を復習し、理解しておくこと。わからない点が出てきたら、次回、質問をすること。

2 授業におけるICT活用（1）

教科書 p. 1?p. 34

(1) デジタル教材作成とソフトウェア活用（ワープロソフトの活用）

事前学修：今回の講義内容について事前に調べておき、概要を理解すること。

事後学修：講義で習った操作等を復習し、理解しておくこと。わからない点が出てきたら、次回、質問をすること。

3 授業におけるICT活用（2）

(1) ワープロソフトで作成したデジタル教材を活用したグループ発表・討議

事前学修：今回の講義内容について事前に調べておき、概要を理解すること。

事後学修：講義で習った操作等を復習し、理解しておくこと。わからない点が出てきたら、次回、質問をすること。

4 授業におけるICT活用（3）

教科書 p. 35? p. 46

(1) デジタル教材作成とソフトウェア活用（表計算ソフトの活用による割合・作表・グラフ）

事前学修：今回の講義内容について事前に調べておき、概要を理解すること。

事後学修：講義で習った操作等を復習し、理解しておくこと。わからない点が出てきたら、次回、質問をすること。

5 授業におけるICT活用（4）

教科書 p. 47? p. 46

(1) デジタル教材作成とソフトウェア活用（表計算ソフトの活用による関数）

事前学修：今回の講義内容について事前に調べておき、概要を理解すること。

事後学修：講義で習った操作等を復習し、理解しておくこと。わからない点が出てきたら、次回、質問をすること。

6 授業におけるICT活用（5）

教科書 p. 47? p. 72

(1) デジタル教材作成とソフトウェア活用（表計算ソフトの活用によるレポート作成）

(2) ワードソフトとの連携

事前学修：今回の講義内容について事前に調べておき、概要を理解すること。

事後学修：講義で習った操作等を復習し、理解しておくこと。わからない点が出てきたら、次回、質問をすること。

7 授業におけるICT活用（6）

(1) 表計算ソフトウェアを活用したデジタル教材を活用したグループ発表・討議

事前学修：今回の講義内容について事前に調べておき、概要を理解すること。

事後学修：講義で習った操作等を復習し、理解しておくこと。わからない点が出てきたら、次回、質問をすること。

8 授業におけるICT活用（7）

教科書 p. 73? p. 100

(1) デジタル教材作成とソフトウェア活用（プレゼンテーションソフトの活用）

事前学修：今回の講義内容について事前に調べておき、概要を理解すること。

事後学修：講義で習った操作等を復習し、理解しておくこと。わからない点が出てきたら、次回、質問をすること。

9 授業におけるICT活用（8）

(1) プレゼンテーションソフトウェアを活用したデジタル教材を活用したグループ討議

事前学修：今回の講義内容について事前に調べておき、概要を理解すること。

事後学修：講義で習った操作等を復習し、理解しておくこと。わからない点が出てきたら、次回、質問をすること。

10 校務におけるICT活用（1）

(1) 教育関係の文書作成

事前学修：今回の講義内容について事前に調べておき、概要を理解すること。

事後学修：講義で習った操作等を復習し、理解しておくこと。わからない点が出てきたら、次回、質問をすること。

11 校務におけるICT活用（2）

(1) 成績処理と管理

事前学修：今回の講義内容について事前に調べておき、概要を理解すること。

事後学修：講義で習った操作等を復習し、理解しておくこと。わからない点が出てきたら、次回、質問をすること。

12 校務におけるICT活用（3）

(1) 進路情報の処理と管理

事前学修：今回の講義内容について事前に調べておき、概要を理解すること。

事後学修：講義で習った操作等を復習し、理解しておくこと。わからない点が出てきたら、次回、質問をすること。

13 Google Workspace for Educationの活用（1）

教科書 p. 127?p.143

(1) ドキュメント・スプレッドシート・スライド

(2) 遠隔・オンライン授業の対策

事前学修：今回の講義内容について事前に調べておき、概要を理解すること。

事後学修：講義で習った操作等を復習し、理解しておくこと。わからない点が出てきたら、次回、質問をすること。

14 Google Workspace for Educationの活用（2）

(1) Googleフォームを活用したレポート・テスト付き課題・アンケート作成・集計

(2) 授業評価の活用について

事前学修：今回の講義内容について事前に調べておき、概要を理解すること。

事後学修：講義で習った操作等を復習し、理解しておくこと。わからない点が出てきたら、次回、質問をすること。

15 情報セキュリティと情報モラル

(1) 情報モラルや情報セキュリティの構築について

(2) 不祥事防止を含めた総合演習

事前学修：今回の講義内容について事前に調べておき、概要を理解すること。

事後学修：講義で習った操作等を復習し、理解しておくこと。わからない点が出てきたら、質問をすること。

23.予習・復習

- ・予習（2時間程度）：配付した資料等で前時と本時の内容について目を通しておく。また、講義中に示された課題に取り組む。
- ・復習（3時間程度）：実習内容について一通り復習する。自宅に実習環境がある場合は実習を通して復習する。

24.注意事項

- ・教員免許状を取得し、教師として教育に熱く取り組んでいこうとする志を持って取り組む学生を優先する。
- ・授業開始時に課題を回収し、課題にコメント等を付けて次の授業で返却する。また課題の内容によっては、講義の中で協議・検討する題材に取りあげる。

25.教材

補助教材として適宜プリントを配布する。

26.教科書

ISBN	978-4-339-02915-4
書名	教職・情報機器の操作－ICTを活用した教材開発・授業設計－
著者	編著 高橋参吉 著 高橋朋子 下倉雅行 小野淳 田中規久雄
出版社	コロナ社
価格	2310円

27.参考書

28.授業関連科目

- ・ 教職関連科目
- ・ データサイエンス・リテラシー教育関連科目
- ・ 情報関連関係科目

29.授業関連資格

30.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）

カリキュラムポリシー	内容	学習目標(比率)
CP1（専門知識）	法学、経済学、経営学、商学に関する専門知識の学習	25%
CP2（一般知識）	社会科学の種々の問題を的確に捉える幅広い一般知識の学習	20%
CP3（思考力）	社会事象を論理的、創造的に思考する能力の学習	10%
CP4（判断力）	社会事象を的確に捉える洞察力と判断力の学習	10%
CP5（会話・文章力）	テーマ内容を的確に表現・伝達する日本語・外国語能力の学習	10%
CP6（意欲・責任感）	社会事象に積極的に参加しようとする意欲と責任感の学習	10%
CP7（協調性）	多様な人々と協調して主体的に活動するリーダーシップの学習	5%
CP8（持続性）	生涯にわたって学び続けようとする態度の学習	5%
CP9（倫理観）	社会のルールを守る倫理観の学習	5%

31.成績評価方法

評価手段	実施内容	評価比率
試験		
小テスト	毎時間実施（ペーパーや実技）し評価する	20%
レポート	課題レポートの内容について評価する	30%
成果発表	作成した教材の内容や発表、討議の内容について評価する	40%
受講態度	講義への出席態度や課題への取り組み姿勢等について評価する	10%
その他		